

平成25年度アーティストインレジデンス事業

教育委員会では、アーティストインレジデンス事業を実施しています。アートスタジオ五日市（戸倉300番地）に9月1日から11月30日まで外国人1人と国内から2人の計3人の若手版画家を招き、地域との文化交流を図りながら版画の創作活動を行うものです。

今年度で21回目を迎え、アーティストの出身国もこれまでアメリカ、ブラジル、オーストラリア、ポルトガル、インド、イタリア、ブルガリア、ドイツなど16か国に及んでいます。

今年度は、次の方々を招いています。



写真右から

風間 雄飛さん（北海道札幌市在住）

箕輪千絵子さん（東京都分寺市在住）

Katrin Graalmannさん（ドイツ・ハンブルグ在住）

親子観劇会を9月7日に秋川キラフホールにて開催！

この事業は、「家庭の日」推進事業の一環として、親子・家族で劇を楽しむ、家庭内での共通の話題をつくることにより、明るく楽しい家庭づくりをよりいっそう深めることを目的に実施しています。

今回は、劇団あともむの『あともむの時間はアンデルセン』遊びバージョンを上演しました。アンデルセン童話を原作とし、アニメーションとパントマイムを組み合わせた劇団オリジナルの手法「アニメイム」による舞台劇で、幼児から大人まで楽しんでいただきました。当日の来場者は、午前の部376人、午後の部338人でした。



マルボロウ市との教育交流事業

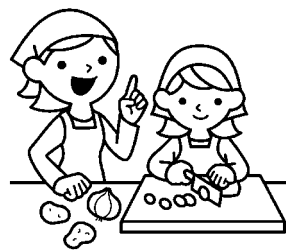
国際姉妹都市のマルボロウ市から友好訪問団が来日し、10月11日から22日まで市内に滞在しました。ホームステイや市立中学校での学校生活の体験、市内や近郊の名所見学などを通じて、日本文化に触れながら、市民との交流を深めました。あきる野で出会ったホストファミリーや友達とたくさんのお重なる経験をし、訪問団は無事帰国しました。



あきる野市からの中学生海外派遣団は10月30日に日本を発ち、11月9日までマルボロウ市を訪問します。

夏休み料理教室を開催しました

料理に親しみ、楽しさを知ってもらうために、小学校4年生から6年生の親子を対象に、7月30日・8月1日・2日の3日間料理教室を開催しました。当初予定していた募集人数を超える応募があったことから、募集の枠を拡大し、応募者全員の方に参加していただきました。



7月30日は五日市保健センターにおいて、あきる野市のB級グルメに認証され、昨年の給食にも登場した「だんべえ汁」をご家庭でも気軽に作っていただくために作りました。参加者の中には「だんべえ汁を作るようになってみたい」と意気込んで参加してくれた子もいました。

8月1日は多西小学校において、給食でも飲み残しが多く、給食のない休日に摂取量が著しく減少してしまう牛乳を取り上げました。社団法人日本乳業協会の加藤先生・芥先生を講師に招き、牛乳やその他の乳製品を使った簡単なおやつ作りをしま

した。実物大の乳牛がプリントされた布を広げて見ると、その大きさに参加者からは歓声が上がりました。8月2日は中央公民館において、日本食で欠かせない豆腐を作る体験をしてもらいました。豆乳から豆腐を作り、それを使って麻婆豆腐を作りました。すべての班で豆腐が無事にできあがり、手作りの味を味わいました。

学校給食では昨年度から地場産野菜の使用を大幅に増やし、子どもたちに地場産の利点や地域の農業について知ってもらうようにしており、料理教室でも新鮮な地場産野菜を使用しました。参加者からは「美味しかった」「楽しかった」「手作り豆腐はよかった」「自分で調理したためか、野菜が食べられるようになった」などの声が寄せられ、参加した子どもたちに料理を十分に楽しんでもらうことができました。

